

# futbol y vida

Poco a poco ...  
 poco a poco ...



代表決定戦に勝利し二年連続で二次T進出!!  
 選手権はここからが**本番**である!!

**酷暑**の中での闘いを制し、二年連続で二次トーナメントに進出!!

“K’s football style” で、**去年の記録(ベスト 16)を超える!!**

残暑の厳しい日が連日続く中、**第 102 回**選手権予選一次トーナメント代表決定戦が、清瀬内山グラウンドで行われました。9月に入り都内では感染症（コロナ・インフルエンザ）による学級・学校閉鎖する学校が急増し、本校も先週末の文化祭の余波を受けてメンバーが数名欠けるなど苦しい台所状態で代表決定戦を迎えることになりました。対戦相手の**深川高校（地区トップリーグ所属）**は選手に感染者がいなかったようですが学校閉鎖で満足にトレーニングができなかったとい



います。しかし、この不測の事態だからこそお互い<二次トーナメントへ負けられない闘いVS深川>真のチーム力が問われます。この三年間積み上げてきたことが本物か否か？酷暑の中、二次トーナメントを懸けた闘いは予定よりも15分遅れでキックオフしました。

## 選手権一次トーナメント代表決定戦 VS 都立深川

キックオフ直後から、引いて守る深川高校陣内でのプレー時間は長いものの、ボールに積極的にアプローチに来ない相手に子どもたちは罠を仕掛けられているかのように最初はかなり攻め倦みました。時折、罠（相手戦術）に掛かり？ボールを引っ掛けて、ドリブルの上手な相手⑨のカウンターを受けピンチを作られます。しかし、ボールを握りゲームは全般的にこちらが支配していました。公式戦では先制点を決めれば楽になるのですが、相手チームのGKが再三にわたり好セーブを見せゴールを許しません。結局、前半は15本のシュートを放つもノーゴールに終わり、勝負の行方は後半に委ねられます。



<公式戦(結果)を勝ち上がることで子どもたちは自信を掴み逞しく成長していく!!>



## 深川高校の作戦?に感わされるも、自らの力で修正しチャンスに繋げていく

後半は、暑さとトレーニング不足からか、相手チームは早い時間から足を攣る選手が多く、メンバーチェンジを余儀なく行います。相手ゴールへ近づく回数が増え、得点の気配を感じた後半10分に、最も警戒されていた左サイドを崩して最後は石坂(3年)がGKを交わして待望の先制点が生まれました。その後も攻撃の手を緩めず後半20分にはCKから混戦になったところを最後は横溝(2年)のシュートがゴールに吸い込まれて**2-0**となります。



<待望のゴールに喜びが爆発する>

その後も、セットプレーと一度カウンターを受ける以外は常に優位にゲームを進め、相手シュートを五本に抑えてそのままタイムアップ。二年連続で二次トーナメント進出を決めました。

しかし、この勝利はあくまでも通過点であり、今年のインターハイ都大会の課題の克服や目標である昨年度の成績を超えたわけではありません。10月からスタートする選手権二次トーナメントで、ベスト8を目指して勝ち上がれるように、チームは早速翌日に東大和高校とTRMを行いました。“K's football style”の**進化**は継続中です。楽しみはまだ続きます。



<二年連続、二次トーナメントに進出!! ここからは強者揃いの闘いが待っている!!>

### <After the Game>

代表決定戦当日は、遠路遙々清瀬内山グラウンドまで暑い中にも関わらず、多くの片倉サッカー応援団が応援に駆け付けて子どもたちに勇気とパワーを与えてくれました。ありがとうございました。今年の選手権一次トーナメントでは、多くの学校で文化祭後体調を崩す生徒が見られ、片倉高校サッカー部でもメンバー入り予定の三名が欠場しました。その中で掴んだ二次トーナメント進出はチームの成長を感じています。また、代表決定戦に向けて、人工芝グラウンドのある日本文化大学・桜美林高校・明星学園、選手権会場運営の日体大荏原高校・保谷高校・東大和高校にお世話になったり、アローレ八王子のスタッフの方に戸吹グラウンド、アローレーパークをお借りして、本番さながらの準備をすることができました。本当に多くのサッカーファミリーに支えられて二次トーナメントに進出できたと思っています。

明日は10月からスタートする選手権二次トーナメントの組み合わせ抽選会が行われます。対戦相手がどのチームになるのか今からとても楽しみです。



<タイムアップの笛は次のキックオフの笛である>